

第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念

竜王が好き！

～こども・若者を育み合う 心地良いまち 竜王～

国のこども大綱では、「こどもまんなか社会」について「すべてのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会」と定義しています。

本町では、第2期竜王町子ども・子育て支援事業計画において、「子育てをみんなで支えあい、子どもがのびのびと健やかに育つまち」を基本理念として、施策を展開してきました。

こうした考え方を継承しながら、ふるさとを愛する心や自己肯定感を高め、こども・若者のウェルビーイングをみんなで実現していくことをめざし、「竜王が好き！～こども・若者を育み合う 心地良いまち 竜王～」を本計画の基本理念として設定します。

2. 基本目標

基本目標1 子育てをみんなで支える地域づくり

コロナ禍の影響や、個人の価値観の変化により、こどもや子育て家庭の交流・交友機会が減少し、子育て世帯の孤独・孤立が課題となっています。

こども・子育てをみんなで支える地域づくりのため、子育て世帯のニーズに応える教育・保育の充実や、支援を必要とする家庭への支援、また地域と連携した見守り・相談支援の充実や、交流機会の充実に取り組みます。

子育て家庭が希望するワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、事業者とも連携した働きやすい環境の整備や、子育て家庭に対する職場や地域における理解促進に取り組みます。

基本目標2 こども・若者の夢を応援する地域づくり

変化が激しく、予測困難な社会を「生き抜く力」を持ったこども・若者の育成に向けて、学校や各種団体と連携し、こどもの多様な体験機会の確保・充実を図ります。

また、様々な生きづらさや困難を抱えるこどもや家庭が地域から孤立することがないよう、一人ひとりのニーズに応じた支援を推進するとともに、学校と連携した相談支援や、地域のボランティアと連携した多様な居場所づくりに取り組みます。

「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こども・若者が意見表明をする機会の充実や、こどもが相談しやすい相談窓口の充実を図ります。

基本目標3 貧困の状況にあるこども・若者への支援

こども・若者の貧困は、地域や社会全体で解決すべき課題であるという認識のもと、関係機関と連携し、保護者の就労支援、生活支援、経済的支援に取り組みます。

また、貧困が世代を超えて連鎖することなく、こども・若者が将来に希望を持って生活することができるよう、生活困窮家庭のこどもに対して、学校協働本部やボランティアと連携し、学習支援に取り組み、多様な学習機会の提供に努めます。

基本目標4 親子の健康づくりの支援

妊娠期から健(検)診や保健指導による健康づくりを推進するとともに、こどもの誕生後にも乳幼児健診を通じた健康づくりや、保護者の相談支援に取り組み、専門的・重点的支援が必要な場合、速やかに支援につなげ、養育環境の安定を図ります。

また、学校や地域と連携し、見守りや健全育成を推進するとともに、こども・若者が自らの健康や性について学び、身体を大切にできるよう、プレコンセプションケアの視点を取り入れた保健教育を推進します。

3. 施策体系

《基本理念》

竜王が好き！〜こども・若者を育み合う心地良いまち 竜王〜

《基本目標》

《取組の方向》

基本目標1
子育てをみんなで
支える地域づくり

子ども・子育て
支援事業計画
(次世代育成支援
行動計画含む)

- 1 子育て家庭を支える教育・保育事業の提供体制づくり
- 2 様々な状況の子育て家庭に対するきめ細かな支援体制づくり
- 3 子育てと仕事を両立させる環境づくり
- 4 こどもの可能性を育む学びの環境づくり
- 5 地域を挙げての子育て支援体制づくり

基本目標2
こども・若者の
夢を応援する
地域づくり

子ども・若者支援計画

- 1 すべてのこどもや若者の健全育成
- 2 困難を有する若者やその家族の支援
- 3 若者のライフプラン形成の支援

基本目標3
貧困の状況にある
こども・若者への支援

子どもの貧困対策計画

- 1 こどもと保護者の相談
- 2 保護者の就労支援、経済的な支援

基本目標4
親子の健康づくり
の支援

成育医療等に関する計画

- 1 親子の健康づくりの推進
- 2 親子の健康づくりを支える体制の連携強化